

第2単元 文字と式A

問題番号	配点	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① 20 ② (各10)	① $60 \times x + 50$ (円) ② 770円	[知技]文字 x 、 y を用いて数量の大きさを式に表したり、その式の x に値を代入して数量を求めたりすることができる。	立式できない児童には、具体的な数値をいくつか与えて立式させ、文字に置き換えればよいことをおさえさせる。また、ことばの式や線分図、数直線などを示して考えさせる。
②	① 30 ③ (各10)	① $x \times 8 = y$ ② 36 ③ 3		
③	① 50 ⑤ (各10)	① $x + 15 = y$ ② $x \div 8 = y$ ③ $1000 - x = y$ ④ $x \times 3 = y$ ⑤ $20 \div x = y$		

第2単元 文字と式B

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① イ ② オ ③ エ	[思判表]具体的な場面で、数量の関係をとらえ、関係を表す式を考えている。	「増加・合併」、「減少・求補・求差」、「倍や等分」、「面積公式」など、どの場面かを考え、場面に合った式や式が表す場面を確認させる。また、関係を式に表すことで、より簡潔に表せることを理解させたい。
②	(例) ア～エのどれか1つ ア ビーズを x 個もらいました。ビーズは全部で y 個です。 イ ビーズを x 個使いました。残りは y 個です。 ウ この箱を x 箱買いました。ビーズは全部で y 個です。 エ x 人で等分したときの1人分は y 個です。	[思判表]式が表す数量の関係を考え、具体的な場面をつくっている。	

▶ 思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	3問以上	2問	1～0問

▶ 主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。